

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月26日

事業所名 サトスポキッズ

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|---|------|-------------------------------|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 86% | 14% | ・スペースが必要な種目を行う時は部屋を区切る、別室に移動するなどして活動が出来るようにしている。 ・マンツーマンで行い、安全の配慮、空間を意識した場所での活動を行っている。 | 工夫をしても児童同士の接触等によるヒヤリハットは発生するので、サポートのスタッフによる見守りをさらに強化していきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 100% | 0% | ・子どもの人数を確認した上で適切な人員配置を行っている。 | 今後も配置数を適切に守り、様々なスタッフと関われる機会を設けていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 100% | 0% | ・利用児一人ひとりに対応を変え、絵カードを用いて視覚的な支援、意思表示の支援など可能な限り本人たちにわかりやすい環境提供できるように工夫を行っている。 ・室内には段差はない。特性に応じて室内の環境整備を行っている。 | ・ビルの共有スペースのバリアフリー化は進んでおらず、スタッフ等の介助で車いす利用時への対応を行っています。 ・今後も本人にわかりやすい環境設定を行い、配慮してまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 100% | 0% | ・児童たちが利用前、利用後には使った用具を一度アルコール消毒し、清潔を保つ努力を行っている。 ・日々掃除、消耗品のチェックをしている。 ・椅子の大きさや物を置く高さを考えている。 ・教具の適切な位置への配置を行っている。 ・運動しやすいように危険物は倉庫に置いたり、角にはクッション材をつけている。 | ・消毒に関しては、今後も感染状況に応じた対応を心がけてまいります。 ・物品の点検、清掃を常に行い、今後も子どもたちが活動しやすい環境調整をしてまいります。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 100% | 0% | ・会議等での記録を残したり、日々の引継ぎ表などを用いて全員が共有しやすくしている。 ・担当の利用者さんの目標をその都度設定し、振り返りを行うことで共有している。 | 今後も日々の業務に関する職員間の共有を行ってまいります。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | 0% | ・アンケートを行い、集計した結果に対して会議で結果を職員に共有し、改善点について話し合い、可能な限り反映するように心掛けている。 | アンケート回収率の向上を行い、より一層業務の改善に繋げてまいります。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | 0% | ・評価を行い、ホームページで公開しています。 | 今後も継続してまいります。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 71% | 29% | ・外部からの訪問、見学等受け入れ、客観的な評価を聞き取り、改善へとつなげている。 | 今後も様々な機関と連携し、業務改善に繋げてまいります。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | 0% | ・毎月一度以上は内外問わず研修の機会を設け、資質の向上を行っている。 | 今後も外部の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上を目指してまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 100% | 0% | ・保護者へのモニタリングの結果を基に職員同士で支援会議を行い、支援計画を作成している。 | お子様へのアセスメントを行うことで、本人のニーズにももしっかり応えていきたいと思っております。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 100% | 0% | ・初回面談時やモニタリング表を用いて標準化されたアセスメントを行うようにしている。 ・行動だけでなく、身体動作についての項目を独自に作成している。 | お子様の成長に合わせて、その状況を把握することで、より良い支援に繋がっていきたく思います。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 100% | 0% | 児童発達支援計画に「発達支援」「家族支援」「地域支援」のそれぞれの項目を設け、具体的な支援内容を設定しています。 | 3つの支援全てを記入したものを提出し、具体的な支援目標設定の理由の記載も継続してまいります。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 100% | 0% | ・指導前に計画の確認、職員間での相談を行い、本人の発達に応じた支援を行っている。 | 今後も支援計画に沿えるよう専門的知識の向上に努めてまいります。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 100% | 0% | ・活動前後に情報の共有を行い、担当指導員が中心となってプログラムを立案し、想定されること安全面、補助の動きなどを全員で確認している。 | 今後も職員間の情報共有を行い、よりよいプログラムの立案をチームで考えてまいります。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | 0% | ・本人のやりたいことや学校での体育、保護者の方からの要望を聞きながら、指導員からも提案を行い、様々な角度から楽しむことが出来るようプログラムを固定化しないようにしている。 | 本人のやりたいことや保護者の方の要望を聞きながら、今後もプログラムの工夫を行ってまいります。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 100% | 0% | ・特性に応じ子ども、保護者と相談をした上で集団活動を取り入れている。 | 今後もご要望に応じて対応して参ります。 |
| 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | 0% | ・毎朝ミーティングを行い、支援の内容や役割を確認している。 | 今後もそれぞれ声を掛け合って、お互いの役割の確認を行ってまいります。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|------|---------------------------------|---|---|
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | 0% | ・終礼を通じて互いに話し合う時間を作り、振り返りノートで情報共有するように工夫している。 | 今後も継続して必ず支援終了後の振り返りを行い、お互いに気づいた点を共有しあって、よりよい支援に繋がるよう心掛けてまいります。 |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | 0% | ・活動内容を可能な限り具体的に記録し、必要に応じて閲覧できるように設定されている。 | 今後も継続して正しく記録を取ることで、より良い支援に繋がるよう心掛けていきます。 |
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | ・新しい支援計画作成後3ヶ月をめぐりにモニタリングを行うようにしている。 | モニタリングを行うことにより常に支援計画の見直しを行ってまいります。保護者様同伴でのご利用なので、モニタリング以外の時期でも必要に応じてご相談に乗っています。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 100% | 0% | ・基本的に管理者、主任、リーダーが参画している。 | 参加させていただく際にそのお子様の状況をしっかり把握し、お伝えできるよう常に職員間での共有を心掛けています。 |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 71% | 29% | ・相談支援員とも連携を取り、状況を把握した上での支援を行っている。 | 利用開始後の支援に関する連携は行えておらず、今後課題であると感じています。 |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | - | - | ・医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。 | 医療的ケアが必要なお子様が今後利用される際は、必要に応じて連携させていただきたいと思っております。 |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | - | - | ・医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。 | 医療的ケアが必要なお子様が今後利用される際は、必要に応じて連携させていただきたいと思っております。 |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 29% | 71% | ・求められたときにすぐに情報の共有が行えるように準備はしている。 ・担当者会議が行われた場合は情報共有を行っている。 | 保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思っております。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。 |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 57% | 43% | ・求められたときにすぐに情報の共有が行えるように準備はしている。 ・担当者会議が行われた場合は情報共有を行っている。 | 保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思っております。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。 |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 86% | 14% | ・他事業所見学、及び見学の受け入れを今年度は行った。 ・助言、研修、見学へと様々勉強させてもらっている。 | 今後も見学や研修に参加し、支援の質を高めていきたいと思っております。 |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 29% | 71% | ・今後検討すべきことだと感じている。 ・コロナの状況により機会が作りにくかった。 | 感染状況を鑑みつつ、イベント参加等地域との交流を今後検討していきたいと思っております。 |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 100% | 0% | ・定期的に参加をして、情報の共有をしている。 | 参加した職員からの情報共有を心がけて参りたいと思っております。 |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | 0% | ・保護者の方に見てもらいながら活動を行うので、活動中、活動後などにその日の様子や以前との変化をお伝えするようにしている。 | 今後もその時々状況に応じて、お子様の発達における課題を共有し、一緒に成長を見守っていききたいと思っております。 |
| 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 100% | 0% | ・希望される方を対象にペアレント・トレーニングを実施している。 | 今年度は事業所主催でのペアレント・トレーニング講座を開催いたしました。次年度も開催予定にしています。 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | 0% | ・ご契約の際に重要事項を読み上げでご説明している。 | 利用を開始してからの疑問点があれば、随時お答えしていける体制を整えています。 |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 100% | 0% | ・新しい支援計画を作成後、保護者の方に説明を行い、同意がもたらされた場合にサイン及び印鑑を押してもらっている。 | 今後もガイドラインに則り支援計画を作成し、保護者様の同意を得てまいります。 |
| | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | 0% | ・活動中や活動後に相談や支援を行っている。 | 様々な資格・経験値のある職員がそれぞれの悩みに応じて助言と支援を行っております。 |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 100% | 0% | ・今年度はピラティス体験等保護者が参加できる企画や、特性や悩みに応じた保護者同士を交流するきっかけ作りを行っている。 | 今後もそれぞれのニーズに応じた企画を考えてまいります。 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | 0% | ・受けた相談や申し入れは他スタッフとも共有し、どのように対応していくなどをチャート表に則り話し合い、対応策を考えている。 | 今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応してまいります。 |
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 100% | 0% | ・季節ごとに保護者通信を発行し、LINE、HP、SNSなども活用し発信している。 | 今後も定期的な会報の作成を継続し、保護者様への情報発信に努めてまいります。 |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意している | 100% | 0% | ・個人情報に注意し、支援に必要な際は保護者様に同意をいただいでから共有させていただいています。 | 今後も十分注意して取り扱ってまいります。個人ファイルは鍵付き書庫にて保管しております。 |
| | 39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | 0% | ・子どもの特性に合わせ絵カードを活用するなど、意思疎通の工夫を行っています。 | 保護者様と個別LINE等を活用し、双方向のやり取りも工夫しています。 |
| | 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 29% | 71% | ・招待はしていないが、地域イベントに参加などは積極的に行っている。 | 感染状況を鑑みつつ、イベント参加等地域との交流を今後検討していきたいと思っております。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|------|-----|--|---|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 71% | 29% | ・職員研修や保護者も参加できる避難訓練を行っている。 ・各委員会等で策定し、周知する機会を作り、実践も行っている。 | 職員間でのマニュアル周知は出来ているが、保護者の方全員に周知出来るようマニュアル設置場所の変更等を検討してまいります。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | 0% | ・定期的に避難訓練を利用者と共に開催するようにしている。 | 全員参加が難しいが、掲示物等で周知徹底を今後も続けてまいります。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 71% | 29% | ・保護者同伴のため服薬の機会はないものの、服薬状況、てんかん発作等は初回面談時などで把握している。 ・アセスメント時だけでなく、保護者からの情報も指導前に伺っている。 | 職員間での情報共有をさらに行ってまいります。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | - | - | 飲食の機会はありません | 今後イベントなどにおいて飲食の機会を設定する場合は必ず医師の指示書に基づく設定を対応させていただきます。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 100% | 0% | ・毎日どのようなヒヤリハットがあったかなどは営業終了後に共有し、事例集を作成するなど共有している。 | 今後も作成と共有を心掛けてまいります。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 100% | 0% | ・定期的に虐待に焦点を当てた研修を内外問わず受講し、定期的な会議にて話し合い、対応できるようにしている。 | 職員間での共有を今後も心がけ、適切な対応を行っていきたいと思います。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 29% | 71% | ・現状身体拘束について協議を行っている段階であり、職員間ではどのような場合に身体拘束を行うかなどは理解できているが、保護者の方への説明や支援計画に記載等は出来ていない。 | 児童に応じて支援計画への記載を行ってまいります。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。